

7月25日(日)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



「ボレロ」で 圧倒的大団円!!!

7月24日 サマーナイト・ジャズ

©青柳 聡

今年のサマーナイト・ジャズは、デビュー50周年を迎えた渡辺香津美が登場。荒川洋、沖仁、コモブチキイチロウ、SHANTIというジャンルレスなアーティストが集い、一夜限りのスペシャル・セッションが繰り広げられた。

コンサートは渡辺とコモブチのデュオ〈ジャンミ〉からスタート。一見ジャジーな、しかしその実、変態的な転調を孕んだ演奏に、会場は早くも静かな興奮で満たされてゆく。このあと曲は、沖が加わった〈アジマス〉、荒川をフィーチャーした〈遠州つばめ返し〉〈アイランド〉と続くが、客席に火が付いたの

は5曲目〈パッシー・ホーム〉。エスニックな音調と変拍子に、きき手は一気に中東世界へと連れ去られる。そして1部最後は渡辺の代名詞ともいえる〈ユニコーン〉。フラメンコ・テイストのニュー・アレンジが、この名曲に新しい血を注ぎ込んだ。

第2部。渡辺と荒川の〈玉響〉〈ティアーズ〉に続き、今宵の歌姫、SHANTIが登場。フォスターの〈ハード・タイムズ・カム・アゲイン・ノー・モア〉と、渡辺の〈ソレイユ〉をオーガニックなヴォイスで歌い上げる。ここからコンサートは怒濤のクライマックスへ。出

演者全員による〈ハヴァナ〉で繰り広げられたソロの掛け合いは、まさに越境のコラボ。〈フラメンコ・レッド〉では哀愁と情熱が炸裂。そしてラストの〈ボレロ〉では、渡辺がエレクトリック・ギターをギュインギュインと弾きまくり、圧倒的大団円を作り出した。

アンコールはふたたび全員で〈ウォーター・イズ・ワイド〉。カントリー・ロック調のアレンジに、一瞬草原の風が会場を吹き抜けた。

(音楽ライター／藤本史昭)



バックステージにて、終演後

左から沖 仁(フラメンコ・ギターベース)、コモブチキイチロウ(ベース)、渡辺香津美(ギター)、SHANTI(ヴォーカル)、荒川洋(フルート)

お客様から

音響がいい所に沖仁さん香津美さんの生のギターの音、アンプも小さい出力でも迫力のある音で、とてもよかったです。(50代・会社員・kawasaki kenichi) / 久しぶりに生で聴けて、シビれました!特にボレロ、かっこよかったです!!! (40代・個人事業主・さやか) / 佐山雅弘さんに導かれてジャズを知ってわからないなりに楽しむようになり、今日渡辺香津美さんの美しく多彩なギターを聞き、これがジャズであるなら、本当にジャズは幅広く、ジャンルの枠にとらわれないと思いました。皆さんの演奏、歌、とても素敵でした。満喫させていただきました。(60代・会社員・toko)



開演前には若手ミュージシャンによるプレコンサートが行われました (出演：佐瀬悠輔 Quartett)

? 夏音 クイズ vol.4



【質問】この写真の道具は都響のステージ担当の間で改良に改良を重ねて完成された舞台で使用する道具です。さて、この道具の名前は何でしょう?

- ①あげるくん ②ふかすくん
- ③せいろくん ④いかすくん

答えは次号! お楽しみに♪

前回のクイズの 正解発表



7/24「かわさきジャズ」のクイズ
答えは①の「橋」でした!

多様な文化を取り入れながら発展したジャズは、川崎のまちにびっぴりたりの音楽です。橋が人の交流を生むように、音楽を「橋」として地域や文化、時代、世代の枠を超えて人と人をつなぐフェスとなることを目指しています。ちなみに川崎は多摩川と鶴見川に挟まれ、橋がたくさんあります。来年は羽田空港とつながる「多摩川スカイブリッジ」も開通予定。



7月23日 イッツ・ア・ピアノワールド 落ち着いた語り口のピアノで 子どももおとなも魅了

お客様から

昨年、オンラインで初めて聴いて楽しかったので今年もオンライン。この時期、短時間のコンサートに出かけるのも気を使うのでありがたかったです。(50代・会社員・あしも) / ピアノの上達は、日々の練習と比例はするけれど、斜めの比例線ではなく、階段状の比例線。どれだけ練習しても上手にならない期間があり、その期間は辛い。親子で、目標を設定して、その期間を上手く乗り切ってくださいと仰っていたのがとても心に残りました。(匿名)



仲道祐子
(ピアノ)

朝のミュゼ川崎シンフォニーホールには、子どもたちとおとなの会話する声があちこちから聞こえてきた。

仲道祐子による「イッツ・ア・ピアノ・ワールド」は、午前11時に幕を開けた。

プログラム冒頭は、モーツァルト「きらきら星変奏曲」。磨き抜かれた仲道のまろやかな音に、ホール全体が包まれる。彼女の落ち着いた音楽の語り口は魅力的である。

続いて、モーツァルト「バターつきパン」。

一筆で描き上げるような仲道の細やかなグリッサンドが心に残る。田中カレンの《愛は風に乗って》(抜粋)では、音の色彩を繊細に描き分け、幻想的な音の世界を緻密に創出。ショパン(リスト編)《6つのポーランドの歌》(2曲)におけるショパンらしい流麗さと、グリムカ(バラキレフ編)「ひばり」の翳りを帯びた音調に、子どもたちも耳をそばだてていた。リスト《バラード 第2番》では、内なる情熱を丁寧に表出し、メロディやモ

ティーフをひとつの音物語へと美しく織りなしていく。アンコールはモーツァルト「トルコ行進曲」。なお、演奏の合間に、仲道はピアノについて寄せられた質問に舞台上から答えていた。

仲道の質の高い演奏とともに、子どもにとどまらず、おとなにも眼差しが向けられたバランスの良いプログラムであった。

(音楽評論・道下京子)



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

優待券を
ご提示下さい

タリーズコーヒー

■ ウイングキッチン京急川崎 4F

🎁 パートナーショップ特典

お好きなドリンクワンサイズアップ

鉄道&珈琲好きにはたまらないっ!

川崎駅周辺に数多くあるタリーズコーヒーですが、中でもここは最高のロケーション。なんてたって、カウンター席に座ると目の前には解放感溢れた景色が開けていて、眼下には京急川崎駅、そして、行き交う京急本線と大師線を同時に楽しむことができます。とにかく鉄道が好きな方は必見です!

毎年楽しみにしている夏限定「エス

プレッソシェイク」は甘さ控えめの大人向けフローズドリンク。走りゆく電車を見ながら今年の夏の計画をあれこれ練っていると…。おっと、現実(仕事)に戻らない!

時間が経つのも忘れてしまうタリーズコーヒーは、スイーツも豊富にそろっているので、お子様連れにもおすすめです!

(京急ヘビーユーザ ふ)



エスプレッソシェイク(ショートサイズ・583円)

サマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

今では実感をもつて言うことができます。サマーミュージックはすごいぞ! 先輩方の足元で、まだ右往左往している私ではありますが、お客様にご満足いただけるよう、精一杯努めます。この夏のひとときが、素敵なものとなりますように。(チケットセンター 新人丁)

例えば、まだ冬のコートを着込んでいた入社時から、このミュージック川崎シンフォニーホールにとって最大のイベントとして、とにかく「すごいぞ」ということを繰り返して耳にしてきたサマーミュージック。マフラーをぐるぐる巻きにしている状態で聴く話は、まるで遠い未来のことのようにいまひとつ実感がわきませんでしたが、制服のジャケットが水色のポロシャツに変わり、5月にはチケットの販売が開始。この日に備えての勉強会や研修も重ね、いよいよ、まだ見ぬ存在であったサマーミュージックが現実のものになりました。

ほほ
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

今年もミュージックの暑い夏がやってきました!
と、書いてみたものの、新人の私にとっては初めてのサマーミュージックです。

スタッフ日記